

社会貢献活動全体像

<テーマ>

次世代を育む環境づくりと人づくり

<活動方針>

- ・次世代の育成に役立つ活動を行います。
- ・地域の社会・文化の発展に貢献することを目指した活動を行います。
- ・持続可能な社会に向けて、環境を守り育てる活動を行います。
- ・社会的支援として、バリアフリー社会を推進する活動を行います。
- ・花王の持つ資源を有効に活かせる活動を行います。
- ・一人ひとりの社員が良き市民として、社会的活動に参加できるような風土をつくります。

<全体像>

次世代を育む 環境づくりと人づくり

より良い環境を次世代に引き継ぐために、環境保全のみならず環境を守り育てる人づくりを両輪で推進します。

未来を担う子どもたちのために、花王のリソースや強みを活かした活動を推進します。

多様なコミュニティと共により良い社会を築くために、地域社会やNPO・NGOと連携した活動を推進します。

環 境

教 育

コミュニティ

社員参加型の活動

メセナ支援

公益財団法人 花王芸術・科学財団

花王芸術・科学財団は、芸術文化と科学技術への助成及び研究者の顕彰等を通じて、日本の芸術文化と科学技術の振興及び発展向上に寄与することを目的としています。

<http://www.kao-foundation.or.jp/>

1. 「環境」の活動

「環境」の活動として、「花王みんなの森づくり活動」「タイ北部“FURUSATO”環境保全プロジェクト」を展開しています。また、被災地支援となる社員参加プログラムとして「東日本グリーン復興モニタリングプロジェクト」も実施しました。

花王・みんなの森づくり活動

緑豊かな環境づくりと、その環境を次世代に引き継ぐための環境を守り育てる人づくりを行なうプログラムで、社会と“いっしょに eco”の柱となる活動です。

全国から森づくりや環境教育に取り組む NPO・市民団体を公募し、「森づくり分野」と「環境教育分野」合わせて、毎年 20 件程度を選定し、3 年間継続して支援します。支援先には、花王からの助成金を活用していただくほか、支援先同士や花王との交流の機会を設け、活動のさらなる広がりを支援します。

プログラムは、公益財団法人都市緑化機構と協働で運営し、2000 年から 2015 年に支援した団体数は累計で 411 となりました。これは、都道府県が把握する森づくり団体数約 3,000 の 1 割を超えています。また、環境保全活動を通じて、現代の地域社会の抱える様々な課題を解決し、地域のより良いコミュニティ形成にも寄与しています。

<2015 年度の活動>

- ・継続した活動が評価され、第 65 回「都市緑化功労者 国土交通大臣表彰」を受賞
- ・20 団体の支援を新たに開始
- ・2014 年度に支援を開始した 17 団体にヒアリングを実施、活動状況を確認した上で継続助成



タイ北部“FURUSATO”環境保全プロジェクト

タイ北部における急激な森林減少・破壊と、それが引き起こす水害・煙害等の環境問題の改善をめざし、海外での“いっしょに eco”の柱となる活動として展開しています。

タイ北部チェンライ県チェンコン郡で、2012 年からの 5 年間で計 35ha に在来種を植林し、同時に環境教育を実施して環境を守り育てる人材の育成を行ないます。プログラムは公益財団法人オイスカ、オイスカタイランドとの協働で、植林地の日々の管理保全は地域住民の手で継続して行なわれ、雇用も生み出しています。これまでに累計 28ha に在来種 34,000 本を植林しました。

<2015 年度の活動>

- ・7ha に 8,000 本を植林
- ・2015 年 7 月 24 日に植林イベントを実施。行政関係者、住民、小学生など地域の方々と、花王グループ社員含め 400 名が参加して 6,000 本を植林、また参加者に製品を提供
- ・地域の方と花王グループメンバーの交流を実施
- ・計画通り植林と環境教育を実施。木々の活着率も 70%を超え、適切に管理されている



その他の活動（環境）

<花王・みんなの森の応援団>

- 公募で選ばれた大学生が、森づくり活動を行う NPO や市民団体の現場を取材・記事を作成し、WEB 上で発信。記事執筆にあたり、記事の書き方などの研修の機会を提供
- 大学生の人材育成、森づくり活動の意義を伝えることで NPO 等の支援の輪の拡大をめざす活動
- 2006 年～2014 年累計：86 名参加、87 団体訪問
- 2015 年度：これまでの参加者や受け入れ団体へのアンケート、元学生レポーターによる団体への再取材等を実施。このプログラムの持つ意義、成果をまとめ、冊子「NPO と企業が結ぶ次世代、異世代、森づくり『花王・みんなの森の応援団の軌跡』」を制作した。一定の役割を終え、2015 年度でプログラムを終了



<東日本グリーン復興モニタリングプロジェクト>

- 東日本大震災で津波による被害を受けた干潟、田んぼでの生物多様性保全に関わる調査研究（主催：認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン）へ、社員がボランティアとして参加し、調査研究のサポートを行なう
- 被災地復興支援、生物多様性保全、社員の生物多様性保全への理解促進をめざす活動
- 2015 年度：10 名が 5 プロジェクトに参加
- 2013 年～2015 年累計：28 名参加
- 参加した社員の声：
 - 「仕事も環境も違う方々とお話することができ、滅多にない貴重な機会であったと思います。社会や考え方の多様さを知り、学ぶことばかりの二日間でした。」
 - 「研究者の熱い思い、若い参加者の高い志に触れ、新鮮で楽しい時間を過ごすことができました。」
 - 「こうした活動で学んだことを自分の住んでいる場所に置き換えて何ができるか、何を守らなければならないかを考えて行動していくことが大切なのだと学びました。」



2. 「教育」の活動

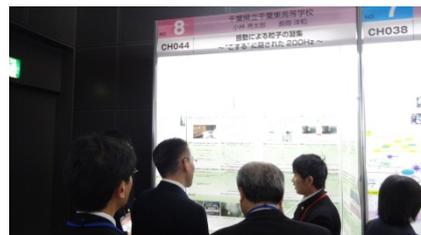
「教育」の活動として、「理科教育支援」「花王・教員フェローシップ」「出張授業」を展開しています。また、出張授業では、関連して教材提供も実施しています。

理科教育支援（JSEC）

「JSEC」は、高校生のための科学と技術の自由研究を競うコンテスト（朝日新聞社・テレビ朝日主催）で、花王は2005年から協賛し、花王賞と花王特別奨励賞を贈呈しています。賞の選定にあたっては、社内で事前審査を実施し、最終審査会で高校生のポスター発表を聞いた上で決定しています。また、事前審査の際の研究者からのコメントを高校生にフィードバックしています。

花王賞受賞校には、米国での国際大会への出場資格が与えられ、花王特別奨励賞受賞校には、花王の研究者との交流機会「スタディツアー」が贈られます。これまでの累計で15校に賞が贈られました。

また、学会などを通じてイベントに協力し、研究者による講話や理科実験講座を実施しています。



<2015年度の活動>

- ・JSEC2014で受賞した2校の生徒・教員を和歌山工場に招いて「スタディツアー」を開催
- ・JSEC2015で花王賞と花王特別奨励賞を贈呈
- ・協賛10回となったため、過去の受賞者・受賞校にアンケートを行ない、活動の振り返りを実施。個人の成長や学校での波及効果が見られること、企業への期待も大きいことがわかった

アンケートより（抜粋）：

参加者の成長や研究継続のモチベーション、理系進路選択につながる
研究課題の明確化や社会的有用性への認識が向上する
学校運営面でも地域から関心が向上し良い影響があった
企業目線による審査がよい

- ・理科実験講座を2回実施、講師として社員計7名が参加

花王・教員フェローシップ

生物多様性の保全に向けて、資金と人を支援するプログラムです。環境教育の実践者である教員に参加いただくことで、子ども達や地域への広い波及効果を期待しています。

プログラムは、認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパンと協働で運営し、教員に海外の野外調査プロジェクト（NGO アースウォッチ主催）へボランティアとして参加する機会を提供しています。教員が現地で得た自らの体験や感動を、学校や地域での環境教育で活用いただいています。2004年からの累計で70プロジェクト、128名を支援しています。

参加した教員からの声：

- 「自身が環境調査の目的を具体的に理解できたことも大変有益であった。科学の知識や技能が、社会に対してどのような役割を果たしているのかを示す、具体例そのものである。科学を学ぶ意義を、生徒とともに考える教材にしたい。」
- 「別の言語で学ぶ楽しさをボランティアで味わうことができるとは想定外であった。小学校に英語教育が導入されるが、こうした海外経験を先生たちがすることは大きな意味があると感じた。」
- 「『これから自然とどのように共存していきたいか』を考え、行動を逆算していく重要性を学んだ。子どもたちに『未来の地球をどのようにしていきたいか』について考えさせたい。」



<2015年度の活動>

- ・9名が5プロジェクトに参加
- ・活動報告会を花王社内にて開催（2015年10月24日）
- ・参加教員は、担任の枠を超えて学年や学校全体での報告を行なっている。これらの経験と環境教育の実践について、報告会を通じて情報が共有された
- ・2015年度参加教員により、1,000人以上の児童・生徒に向けて授業・講義等が実施された（2015年活動参加後～2016年3月まで）

出張授業・教材提供

社員が講師となって学校を訪問し、出張授業「手洗い講座」「おそうじ講座」「環境講座」「UD講座」を実施しています。事業とかかわりの深い分野で子ども達の生きる力の向上に貢献することをめざしています。また、授業で使える教材も提供しています。「手洗い講座」「おそうじ講座」、小学校4年生向け「いっしょにエコ日記」、中学校家庭科向け「環境のことを考えた快適な暮らし」があります。

<2015年度の活動>

- ・出張授業4講座 計223校で実施。受講児童数は16,739人、参加社員数約1,100人
- ・手洗い講座、おそうじ講座、家庭科教材を計274校に提供、いっしょにエコ日記を515校に提供

3. 「コミュニティ」の活動

「コミュニティ」の活動として、「花王社会起業塾」「花王ファミリーコンサート」などを展開しています。また、花王の社会貢献活動の出発点でもある「情報のバリアフリー」の活動、「福祉施設製品寄贈」なども実施しています。

花王社会起業塾

持続可能な社会を次世代に引き継ぐため、次世代を担うリーダーである若手社会起業家の育成支援に取り組んでいます。

特に「家族を取り巻く」社会課題をビジネスの手法で解決しようとする若手の社会起業家を支援しています。このプログラムは、次世代の社会起業家を育成・支援する「特定非営利活動法人 ETIC.（エティック）」との協同事業で、公募・選考・プログラム運営等は、複数企業が連携して支援を行なう「社会起業塾イニシアティブ」*を通じて行なわれており、



対象となった起業家には、約半年の期間中に、専門家や先輩起業家によるアドバイスを受ける機会を提供し、事業を成長軌道に乗せるための支援を行ないます。

花王では、2010年からこれまでに18組の社会起業家を支援しました。

* 花王のほかに NEC、2015 年度よりエヌエヌ生命保険がオフィシャルパートナーとして、参画。

また、社員と社会起業家との交流を通じて、社会課題への理解を深めるとともに「起業家精神」を社内に吹き込むこともめざしています。

<2015 年度の活動>

・3 組の社会起業家を支援

- ① 清輔夏輝さん（特定非営利活動法人チャリティーサンタ 代表理事）
取り組み内容：「ひとり親家庭の子どもに、サンタクロースで『自己肯定』を届ける、新しい挑戦～単年 1 万人をめざして～」
- ② 中山勇魚さん（特定非営利活動法人 Chance For All 代表理事）
取り組み内容：「だれでも通えて高品質な民間学童 CFAKids の運営」
- ③ 渡邊享子さん（合同会社巻組代表社員）
取り組み内容：「被災地での地域産業の担い手育成・移住促進のビジネスモデル」の構築



・社会起業塾開始 5 年にあたり、今までの活動を振り返る冊子を制作し、社内外に広く配布。また、社員に向けた支援起業家による記念講演 & 交流イベントを実施し、卒業生を一室に集め、社員との交流の機会を設けた。社員 86 名参加。



花王ファミリーコンサート

事業場立地地域での地域貢献活動として、地域の方々に質の高い音楽に親しんでいただく機会を提供し、学校教育への支援もあわせて行なっています。

コンサートは、一流のアーティストを招聘し、事前準備や当日の運営を社員が担っています。チケット（1,000円/1枚）の収入は、全額地域の学校教育等へ寄付しています（1公演につき100万円前後）。

2002年から累計で33公演を開催し、来場者数は約30,000名となりました。



<2015年度の活動>

- ・3月8日、和歌山県和歌山市にて、ピアノ三重奏 ゼッパール・トリオ公演を開催。来場者830名、チケット収入を和歌山市に寄付。社員ボランティア42名が参加
- ・10月11日、山形県酒田市にて、インストゥルメンタルユニットのTSUKEMEN（ツケメン）公演を開催。来場者1,236名、チケット収入を酒田市に寄付。社員ボランティア15名が参加
- ・12月6日、愛媛県西条市にて、テノール・錦織健氏公演を開催。来場者1,015名、チケット収入を西条市に寄付。社員ボランティア24名が参加

その他の活動（コミュニティ）

<情報のバリアフリー>

- 障害の有無に関わらず誰もが豊かな生活をめざせるようバリアフリーの理解と共有をめざす活動
- 2015年度：
 - ・日本点字図書館発行の会員向け音声情報誌「ホームライフ」に生活情報を3回提供し、社員6名が音訳ボランティアとして録音に協力
 - ・バリアフリービデオ：寄贈16件。障害のある方々の生活の不便さを伝え、理解と共有を図る内容で、総合学習等の教材として活用されている
 - ・点字シールと生活情報音声CDの無償提供：99件



<福祉施設への製品寄贈>

- 地域貢献と社会支援の一環として、花王製品を福祉施設へ寄贈
- 寄贈先は、社会福祉協議会と連携して選定、もしくは社会福祉施設と、民間の運営する滞在型施設（病児家族滞在施設「ファミリーハウス」、あしなが育英会運営の滞在施設、民間運営の子どものためのシェルターや自立援助ホームなど）



4. 社員参加型の活動

社員参加型の活動として、「花王グループピンクリボンキャンペーン」を実施しています。また、社員有志の寄付組織として「花王ハートポケット倶楽部」を運営するほか、社員ボランティアを推奨しています。

花王ハートポケット倶楽部

社員の社会への参加のきっかけとすることを目的としたプログラムで、地域社会との信頼関係の構築もめざしています。

倶楽部の趣旨に賛同した社員が会員となり、給与の一部を拠出して基金として積み立て、NPO・NGO・市民団体への寄付を通じて社会的活動に役立っています。災害時は、緊急の資金援助も行ないます。倶楽部の運営は、会員の代表である運営委員が担っています。

事業場立地地域の市民活動を支援する「地域助成」を栃木・和歌山・茨城で実施し、2014年から大型助成「みらいポケット基金」で国際協力など規模の大きなプロジェクトを支援しています。また、社員がボランティアとして参加するプログラム（「絵本を届ける運動」「YMCA チャリティラン」など）も実施しています。

2004年からの累計で490件、8,623万円を寄付しています。

<2015年度の活動>

- ・2015年12月現在の会員数：2,697人
- ・運営委員会12回開催、46件を支援
- ・地域助成(栃木・和歌山・茨城)：17団体を助成。投票による選考にのべ1,977名の社員が参加、353名が助成先への応援メッセージ協力
- ・大型助成「みらいポケット基金」：6団体を助成。15名の運営委員が選考に参加
- ・ボランティア参加数：絵本を届ける運動180名、YMCAチャリティラン5名、ダウン症の子どもと家族とのウォーキングイベント「バディウォーク」ボランティア参加2名
- ・盲ろう者書籍紹介：115名、全国事業場15か所で紹介
- ・助成先とのコミュニケーション：「みらいポケット基金」活動報告会ならびに贈呈式を開催（12月11日）、和歌山地域の助成先による和歌山工場・エコラボミュージアム・クロマツ防潮林見学会を開催（6月8日）、助成先22名、社員2名が参加
- ・他企業との情報交換会：2件

ハートポケット倶楽部



花王グループ ピンクリボンキャンペーン

花王グループ企業合同の社会貢献活動で、乳がんのみならず女性の健康を応援しています。『店頭』という花王グループの持つ強みを活かした啓発活動です。

この活動は、2007年に花王とカネボウ化粧品合同の社会貢献活動としてスタートしました。10～11月に、花王ソフィーナ・エスのビューティアドバイザーと、カネボウ化粧品のビューティカウンセラーがピンクリボンバッジを着用し、化粧品店頭にご来店いただいたお客様に、乳がん早期発見の大切さを伝えるリーフレットをお渡ししています。これまでに日本のほか海外でも8カ国で活動を実施し、2007年からの累計



リーフレット制作は725万枚となりました。

化粧品店頭での活動以外にも、社会に広く情報を発信するために特設サイトを運営したり、検診受診を後押しするアプリも提供しています。商品の売り上げの一部を啓発活動に寄付したり、啓発活動に社員が参加するなど、独自の活動を行なっているグループ会社もあります。

<2015年度の活動>

- ・10月～11月に化粧品店頭での活動を実施。日本だけでなく、中国・香港・台湾の花王ソフィーナの店頭に加え、中国・タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピンのカネボウ化粧品店頭で実施
- ・iPhone向け「笑顔つながる“ピンクリボンアプリ”」を継続提供
- ・カネボウ化粧品の特定商品購入に応じて100円を認定NPO法人乳房健康研究会に寄付

その他の活動（社員参加型の活動）

- 社員がコミュニティとかわることを応援し、活動参加のきっかけとなるよう、情報の提供や、具体的な活動機会の提供を行なう
- 2015年度：
 - ・ボランティア情報サイト運営：社会貢献部で選定したボランティア情報、NPO情報など、計31件発信。社員による活動の報告を55件掲載
 - ・ボランティアプログラム提供：計8件、参加社員数443人

5. メセナ支援

豊かな生活文化の実現と、モノづくりの基盤を支える文化の発展のために、優れた芸術文化の発展と継承や、担い手となる次世代の育成を支援しています。

若手芸術家育成支援

- 次世代を担う芸術家育成の活動を支援
- 東京音楽コンクール主催
(共催：東京文化会館・読売新聞社・東京都)
日本の音楽界の次世代を担う人材の発掘・育成を目的とし、各部門優勝者がオーケストラと共演してコンサートを開催するほか、入賞者には、単独公演の開催を含め、公演機会の提供など、東京文化会館が5年間バックアップを行なう。
- 2015年度：第13回目となるコンクールを開催。弦楽、木管、声楽の3部門で、応募総数397名、入賞9名
- K-BALLET YOUTH 支援
若手ダンサーを中心として熊川哲也氏を総監督とするジュニア・カンパニー。次世代の才能あるダンサーの発掘と、プロフェッショナル・カンパニーと遜色のない環境での実践の場を提供
- 2015年度：第2回公演「トム・ソーヤの冒険」への特別協賛



芸術文化活動支援

- 優れた芸術文化の発展と継承のために、国内の優秀な音楽・舞台公演と美術展開催を支援
- 舞台公演協賛：新国立劇場 特別支援企業グループとして協賛
- 交響楽団への賛助：日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、NHK 交響楽団
- 音楽公演協賛：東京交響楽団定期演奏会、NHK 交響楽団「第九」公演
- 美術展協賛：「マグリット展」(読売新聞社主催)、
「大英博物館展」(朝日新聞社主催)、
「ウィーン美術史美術館所蔵 風景画の誕生」展 (Bunkamura、TBS、読売新聞社主催)



6. 東日本大震災への対応

東日本大震災からの復興支援として、既存の社会貢献プログラムや花王のリソースを活かしながら NPO・企業・多様な組織と連携し、現地のニーズや課題に添った活動を行ないます。

現在、「心のケア」と「自立的復興（産業復興）」の2つの柱で活動を継続しています。

みちのく復興事業パートナーズ

- NPO 法人 ETIC と企業 7 社が連携し、被災地で事業に取り組み、東北を支えていくリーダーたちをサポートする企業コンソーシアム*
- 社員の力や企業リソースを活かし、東北の事業の自立に貢献する活動を企画・実施

* < 参画企業 >

いすゞ自動車株式会社、株式会社ジェー・シー・ビー、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社東芝、株式会社ベネッセホールディングス、花王株式会社 ※2016年2月時点

- 2015年度：

【コンソーシアム全体での取り組み】

- 事業ブラッシュアップ・プログラム：これからの地域を支えるような特定テーマを今後牽引することが期待される団体を選び、ビジョンと戦略を磨き、次のステージにステップアップするためのきっかけづくりの場を提供。7月、1月（2016年）に合宿開催
- 第3回みちのく復興事業シンポジウム：「東北モデルから地方創生のヒントを探る」をテーマに、東北の最新事情とこれからの企業の復興支援のあり方について考える機会を提供。3月9日電通ホールにて開催、企業のCSR担当者・社会貢献担当者等108名が来場。社員8名参加

【花王単独での取り組み】

- 第3回花王復興応援イベント：個人として被災地とつながる機会として、「東北の未来とつながるワンアクションデー」と題したイベントを3月16日に茅場町本社で開催。現地の復興リーダーによる講演会をはじめ、東北の物産市、ボランティア情報など、東北の現状を知り、応援する機会を提供。社員241名参加
- 花王グループ南三陸町ボランティア：被災地の見学と産業復興リーダーのもとで、農業ボランティアの機会を提供。南三陸町で5月23-24日、11月21-22日の2回にわたり開催。社員50名が参加



スマイルとうほくプロジェクト

- 東北の新聞社 3 社による「スマイルとうほくプロジェクト」に協賛。花王グループ社員が花植え、仮設住宅訪問などを行ない、現地との交流を深めた。2015 年度は仮設住宅 30 か所を訪問

7. 災害支援

2015 年度の花王グループによる主な災害支援

災害	会社	支援内容
ネパール中部地震	花王（株）	被災地支援のためジャパン・プラットフォームに 100 万円を寄付
	花王スペシャルティーズ アメリカズ	American Red Cross などに 6 万円相当の寄付および社員ボランティア協力
日本 台風 18 号	花王（株）	被災者支援のため社会福祉法人中央共同募金会を通じて 200 万円を寄付、茨城県常総市に製品寄贈
日本 口永良部島噴火	花王（株）	避難先への支援として屋久島町に製品寄贈
インドネシア水害	花王インドネシア	被災者支援のため 35 万円相当の製品寄贈および社員ボランティア協力
マレーシア水害	ファティケミカル（マレーシア）ほか	被災者支援のため 20 万円相当の製品寄贈

8. 海外花王グループによる主な地域貢献活動

エリア	会社名	内容
中国	Kao (China) Holding	節水啓発活動実施、青少年書道展協力、大学生向けキャリア教育支援、上海市慈善基金会・葫芦島市老人協会に製品寄贈
	Kao Corporation Shanghai	工場周囲の清掃、工場見学
	Kao Commercial (Shanghai)	節水啓発活動実施
	Kao (China) Research and Development Center	節水啓発活動実施、小学生読書講演会・大学生向けキャリア教育に協力
	Kao (Hefei)	節水啓発活動実施、大学生日本語スピーチ大会支援、工場見学
	Kao Chemical Corporation Shanghai	道路・河川清掃、地域住民との交流
	Huludao Jinxing Casting Materials	老人協会などへ製品寄贈
	Kanebo Cosmetics (China)	四川地震被災地の養蚕業復興活動・大学生起業支援活動・女性健康支援に寄付、福祉従事者に製品寄贈
香港	Kao (Hong Kong)	高齢者チャリティランに寄付、教育支援団体・福祉団体・大学に製品寄贈、ピンクリボンで商品の売り上げに応じた寄付、健康啓発・洗顔啓発で製品提供
台湾	Kao (Taiwan)	海岸清掃の実施、地域の団体へ製品寄贈、工場見学・オフィス訪問受け入れ、小学校でのお掃除講座の実施
ベトナム	Kao Vietnam	子ども福祉でクリスマスカード購入
フィリピン	Pilipinas Kao	高校生と技術専攻大学生への奨学金提供、工場近隣の小学校と高校の修繕に寄付・清掃やメンテナンスに参加、マングローブ植林の実施、理数教育支援、地域の方の医療受診機会を支援、工場見学
タイ	Kao Industrial (Thailand)、Kao Commercial (Thailand)	清掃活動・サンゴ礁保全活動・マングローブ植林の実施、化学・エンジニアリング専攻学生へ奨学金提供、子ども支援 NPO へ製品寄贈、50 周年記念で子ども支援のために製品寄贈、学校設備整備協力、工場見学、手洗い講座の実施、それに付随して学校に製品寄贈
	Kanebo Cosmetics (Thailand)	企業見学受け入れ
シンガポール	Kao Singapore	文化教育団体へ寄付、子ども支援団体へ寄付

エリア	会社名	内容
マレーシア	Kao (Malaysia)	初経教育の実施
ア	Fatty Chemical (Malaysia) ほか	文化交流イベントに寄付、献血キャンペーンに社員が協力し製品寄贈、スポーツ支援のための製品寄贈、高齢者施設・障害児施設・児童養護施設との交流と製品等寄贈、障害児絵画購入、防災活動支援、小学校での衛生教育実施、中学校での環境啓発実施と製品寄贈、地域住民との交流を実施、工場見学
インドネシア	PT Kao Indonesia	貧しい人向けの病院建設や地域の祭事に社員が協力・寄付金提供、植林活動の実施、環境絵画展に社員が協力、工場見学
	PT. Kao Indonesia Chemicals	地域のセキュリティシステムに寄付、近隣の住民に清潔な水を提供、工場移転に伴いオフィス設備・用品を地域や学校に寄贈、工場見学
アメリカ	Kao USA	清掃活動、地域団体等へ寄付、ユナイテッドウェイ・地域の芸術文化支援・恵まれない子ども支援に社員が協力し寄付金を提供、ピンクリボン啓発活動や早産防止研究支援で社員が協力し製品や寄付金を提供、工場見学
	Kao Specialties Americas	献血、ハイウェイクリーンアップを実施、若年性糖尿病研究支援・乳がん啓発活動に社員が協力し寄付金を提供、ユナイテッドウェイ支援で社員が協力し寄付金を提供、フードバンク支援、恵まれない子どもへのクリスマスプレゼント集めに協力、ホームレス支援で製品寄贈
メキシコ	Quimi-Kao	工場周囲の清掃の実施、高齢者施設・フードバンク・子ども支援団体・恵まれない子どもへのおもちゃ支援活動に社員が協力し寄付金を提供、幼稚園と高齢者施設のペインティングと寄付、奨学金の提供、工場見学
ロシア	Kanebo Cosmetics Rus	学校文化活動・弁論大会支援で製品寄贈
ドイツ	Kao Germany	子ども支援団体や環境教育に寄付
	Kao Chemicals GmbH	スポーツ・地域の伝統文化・学校・福祉団体・障害者雇用等に寄付、市冊子発行支援で寄付、工場見学
ベネルクス	Kao Netherlands / Kao Belgium / Guhl-Ikebana	福祉活動に寄付
イギリス	Kao UK	福祉施設等の支援で製品等と寄付金を提供
フランス	Kao France	女性支援活動に製品寄贈
スイス	Kanebo Cosmetics (Europe)	乳がん啓発で社員が協力し製品と寄付金を提供
スペイン	Kao Corporation S.A.	市議会冊子発行支援、市民団体・伝統音楽・貧しい家庭支援に寄付、恵まれない子どもへのクリスマスプレゼントを持ち寄る活動にマッチング寄付、精神障害者職業訓練を支援して寄付金を提供